

# 抗 議 文

米原子力潜水艦ハンプトンの横須賀基地入港に強く抗議する。横須賀基地は原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦ハンプトンはただちに出て行くこと。

米海軍第7艦隊司令官      スコット・スウィフト中将    殿  
在日米海軍司令官        テリー・クラフト少将    殿  
米海軍横須賀基地司令官ディビット・グレニスター大佐    殿

2013年9月24日

原水爆禁止神奈川県協議会  
神奈川県労働組合総連合  
新日本婦人の会神奈川県本部  
神奈川県商工団体連合会  
神奈川県平和委員会  
安保廃棄神奈川県統一促進会議  
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会

9月24日午前10時26分、ロサンゼルス級攻撃型原子力潜水艦ハンプトンが、横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年9回目、原子力艦船の入港も12回目で、通算878回となった。原潜ハンプトンの横須賀入港は、今月2回目の原潜入港となる。

原潜ハンプトンは米海軍の攻撃型原潜のロサンゼルス級で、核・非核両用の巡航ミサイルの装備が可能な原子力潜水艦である。

2007年、原潜ハンプトンの乗組員が、毎日おこなうべき原子炉の安全確認を1ヶ月以上にわたって実施せず、ずさんな安全管理のもとで日本の海を航行していた。さらに、そのことを隠すために記録を改ざんする重大問題まで起こした原潜である。

現在、北東アジアの軍事的緊張が強まっている。武力衝突、核兵器使用という最悪の事態を防ぐためにも、平和的外交努力がいよいよ重要になっている。このようなとき、原子力潜水艦の横須賀入港は、軍事的害悪をもたらすものであり断じて許されない。

米原潜の核兵器搭載の可能性は否定できず、「核持ち込み」の問題も重大である。核を搭載していないことを証明すると同時に、核「密約」はただちに破棄することを要求する。

今日、首都圏や三浦半島で巨大地震の発生確率が高まり、県民は巨大地震による原子力艦船の原子炉事故に強い不安を抱いている。我々はこれまで、再三にわたって巨大地震による原子力艦船の事故の可能性や影響、対策について検証し情報を公開することを要求してきたが、米軍はこれに答えず、詳細な情報の開示を拒否する態度をとっている。県民の要求に誠実に答えようとしない中で、原潜の横須賀入港は到底許されない。改めて巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性や影響、対策について明らかにすることを強く要求する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本に、戦争のための軍艦が、入出港・滞在し実質的な母港としている。横須賀は原子力艦船の母港でない。このような日本国憲法を踏みにじり、アジアの平和と安全を脅かす行動に強く抗議し、原子力潜水艦ハンプトンはただちに横須賀から出て行くことを、重ねて要求する。

以 上

